

分野名：環境(5/22版)

<p>分野の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個別公害対策の時代から総合的環境保全対策の時代に ○地球環境問題が顕在化し人類全体の重要課題に ○持続可能な循環型社会、自然と共生できる社会の構築が重要課題に ○このような環境分野の課題に科学技術面からの貢献が必要
<p>重点化の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○環境問題を解決し共生と循環を基調とした社会の構築に資するものであることを基本として、 ①政府全体としての環境政策に結びつく具体的かつ現実的な目標を目指すものであること ②最終的に実用化などの研究開発目的を達成することが十分可能であること ③新しい知見や技術を創出し、国民の生活向上および国際貢献に資するものであること ④特に環境分野においては、各省の役割を統合した政府全体としての政策目標とその解決にあたる道筋を設定した、幅広いシナリオ駆動型の統合化プログラム（仮称）が期待されること
<p>重点となるべき領域・項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地球環境研究 ○循環型社会構築研究 ○有害化学物質研究 ○自然共生型社会構築研究 <p>以上の重点4領域の中で重点化の考え方に照らして重点課題を選定し、シナリオ駆動型の統合化プログラムを創設して推進（例：地球温暖化防止プログラム、化学物質総合管理プログラム、自然共生型流域圏再生プログラム、循環型社会構築プログラム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○標準物質、計測技術、環境生物資源保存等知的基盤の整備が重要
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○都市再生本部における循環型都市等の環境問題と関連する検討と連携することが必要 ○他のプロジェクトで検討される他分野との融合領域としての環境研究課題についても検討が必要